

保護者様

美咲町立旭小学校長 吉久 正見

平成23年度の学校評価（保護者アンケート）の まとめと次年度へ向けて

平素より本校の教育活動推進にご協力・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月の大変お忙しい時期に、学校評価のアンケートをお願いいたしましたところ、90名（回収率78.9%）の方からご回答をいただき大変ありがとうございました。

アンケートの結果を通じまして、保護者の皆様のご期待に沿うよう、より緊張感のある学校経営に努めていかなければならないことをあらためて感じました。

アンケートの集計で、あまりできていない項目や、皆様からいただきましたご意見につきましては、次年度の教育課程に反映するようにします。

平成24年度教育課程編成の方向性

1 教育課程編成における主な内容

- (1) 全学年の国語科・算数科で標準時数を上回る時間数を確保し、基礎基本の定着と発展学習の充実
- (2) 放課後学習支援、夏季学習支援の実施により基礎基本の定着
- (3) 朝読書、読書週間の計画実施、100冊推薦図書推奨などによる読書活動の充実
- (4) 9か年を見通した小中連携による、授業改善や専門性を生かした授業づくり、学習規律の徹底や学習習慣づくり
- (5) 地域の自然や文化とのふれあいや地域の方とのふれあいなどを通じた地域学習の推進や豊かな心の育成
- (6) 各種の運動を通しての体力づくりや食育・健康教育の推進

2 平成24年度の研究

- (1) 小中一貫教育の推進（4年次）
- (2) 学校支援ボランティア活動の推進（学校支援地域本部事業）

3 平成23年度との主な変更点

- 2学期制から3学期制へ変わります。
- 家庭訪問を4月に実施し、年度初めにご家庭の様子も含めて個々のお子様のニーズを把握して指導に生かします。
- 7月に個別懇談をし、お子様の1学期のがんばりや課題、夏休みの過ごし方などについて話し合うようにします。
- 運動会の学年の練習の充実や係の打ち合わせ時間の確保を図り、予行は割愛します。
- ※ 行事予定などは現在検討中ですので、確定したものを新年度初めにお渡しします。

1 アンケート結果の考察

評価の項目の中で、昨年度のものと比較してみると、多くの項目で昨年度より高い評価をいただくことができました。ありがとうございます。

特に、A評価（よくできている）の増加を見てみると

「学校は、保護者・地域の願いを聞こうとしている」（9%の増）

「学校は、PTAと連携して、児童の課題に取り組んでいる」（9%の増）

「学校は、支援ボランティアを生かして児童の課題に取り組んでいる」（15%の増）

「子どもは、家庭で進んで読書している」（12%の増）

「子どもは、目標をもって体力作りに励んでいる」（8%の増）

「学校は、子どもや家庭のことについてプライバシーを守っている」（11%の増）

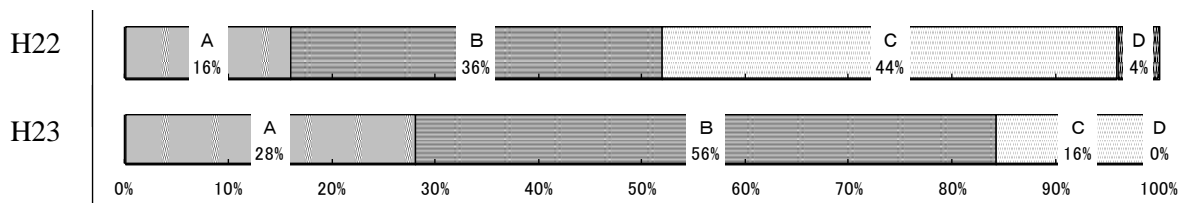
「子どもは、相手の気持ちを気遣い、思いやる心が育ってきている」（13%の増）などの項目が挙げられます。

また、ほとんどの項目で、A（よくできている）とB（ふつう）を合わせると80～90%となっています。

学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えていく取り組みが一定の評価をいただいているのではないかと考えます。

しかし、いくつか気になる点がありますので、以下に紹介します。

① 読書について

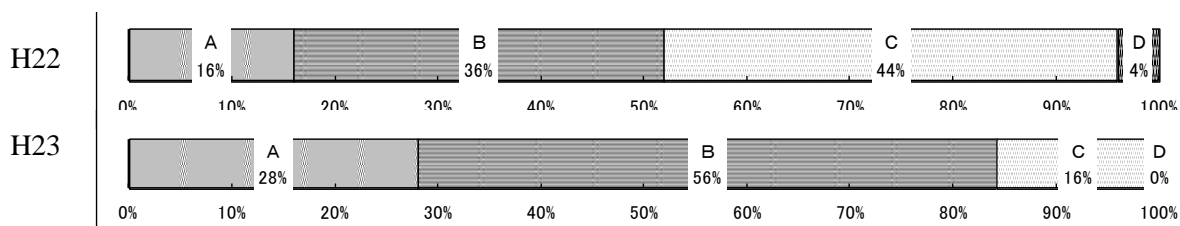


グラフで昨年度と比べると、良い傾向を示す結果となっており、子どもたちのがんばりやご家庭でのご協力が少しずつ変化を生み出してきていることが読み取れます。

しかし、A評価はまだ全体の3割にも満たないのが現状です。12月に児童に行ったアンケートでも「進んで本を読んだ」は41%にとどまっています。各学年に薦める『100冊図書の読破』も50冊以上読んでいる児童の割合は20%（1月現在）であり、また、本をよく読む児童と、ほとんど読まない児童の2極化の傾向も見られるようです。

今後、学校でも、朝読書や読書週間の取り組み、100冊推薦図書の推奨、国語の時間における読書活動の充実をさらに図っていきたいと考えています。読書力は、これからの時代を生きる力の大事な要素です。ぜひ、ご家庭でも読書のための環境づくりになお一層のご協力をお願いいたします。

② 家庭学習について



前年度に比べると、「進んで取り組んでいる」というA評価は増えてきていますが、まだ3分の1以下にとどまっています。また、「ふつう」というB評価が半数強で、

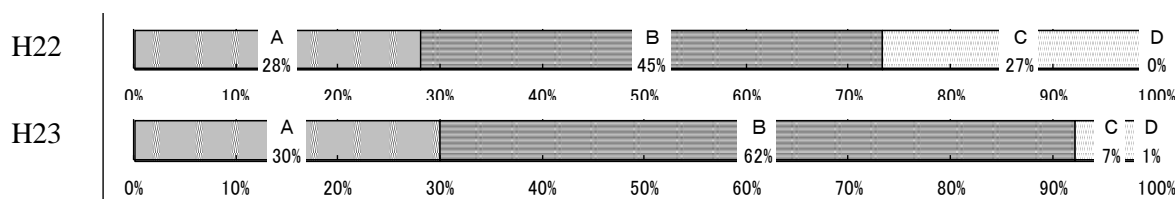
もう一がんばりほしいところですし、さらにC評価の16%も気になります。

児童に実施したアンケート（1月）によると、家庭学習を1時間以上している児童の割合は、全校で25%にとどまっています。

家庭学習は、学校での学習内容の定着を図ったり、自主的な学習習慣を身につけたりする意味でもたいへん重要です。

各学年の目安の時間を設けた取り組みや、学習のしかたの指導など、学校でも工夫改善を加えていきたいと思っておりますので、ご家庭でもご支援よろしく申し上げます。

③ あいさつについて



皆様のご意見の中に、「うちの子を含めできていない。あいさつ運動とかあったのに、なくなったのでしょうか。」「他市町村の子どもと比べると、あいさつができていない。」「あいさつは以前からの課題。先生方も元気のいいあいさつをしてくださるといい。」などがありました。

アンケートを見ても、「よくできている」というA評価は3割です。月2回のあいさつ運動や週目標の取り組みなどを進めてきていますが、まだまだの状況です。学校では、特に、礼儀やマナーに関する言語環境を整えることと関連づけて取り組みを進めていますが、今後、より一層がんばりたいと思っております。

いつでも、どこでも、だれにでも元気で気持ちのよいあいさつができるよう、家庭・地域の方々にもご協力いただきながらがんばっていきたく思います。

2 その他

そのほか、学校教育をよりよいものにするために、皆様からご意見をいただきました。その中でも、

- ・学力をつけるのが学校教育の基本だ
- ・3学期制の趣旨を生かしてほしい
- ・家庭・地域との連携が大切だ

といった内容のものが多くありました。今後の教育活動を進めていく上で留意していきたいと思っております。